



企業理念の理解の徹底を目的とした森林整備体験の実施

自社工場の水源エリアで森林整備を進めている「天然水の森」において、企業理念の理解の徹底や人材育成の一環として、全社員を対象に森林整備体験を実施。2023年度からは、海外のグループ企業にも対象を拡大。



導入の経緯と決め手

2003年から、企業理念「人と自然と響きあい、豊かな生活文化を創造し、“人間の生命の輝き”をめざす。」の追求、そして事業に欠かせない良質な地下水を育む取組として、自社工場の水源エリアにおいて森林整備を行う「天然水の森」活動開始。2014年から、社員の企業理念の理解の徹底や人材育成の一環として、社員による「天然水の森」での森林整備体験を導入。



取組内容とその効果

<実施地域：天然水の森（現在は、兵庫県西脇市、東京都檜原村）>

2018年頃までに自社の社員全員が一度は森林整備を体験したことから、その後は、採用2年目の社員を大阪本社に集めて行うValue研修の一環として、西脇市での常緑広葉樹の伐採作業体験を実施。2023年度からは、海外のグループ会社社員にも対象を広げ、檜原村での皆伐跡地での広葉樹の植樹体験を実施。

参加者アンケートでは、5段階評価のほとんどが4以上の評価であり、企業理念に対する理解向上につながっている。



従業員の声

実際の自分たちの業務を振り返ると、自然の恵みをいただいていることが分かった、自然保全の責任も感じている。
実際に自分が体験することで自分の言葉でお客様にお伝えできるという点で非常に良かった。



役割分担と参加促進に向けた取組

企業から、地元の森林組合や林業事業体に、技術面や安全の指導、事前の場の整備を依頼している。企業のサステナビリティ経営推進本部において、運営や安全性などを検討している。

研修の一環としていることと、日帰りで行ける場所で開催することで、全社員の参加を促している。

■プログラム構築：

自社で企画運営

■導入形態：

参加必須の研修（日帰り）

■対象者：

全社員が対象

■費用負担：

企業が全額負担



目的

- 従業員の自社事業・企業理念に対する理解向上
- 環境教育



結果（企業の声）

- 企業理念に対する理解向上につながった
- エンゲージメントの向上にもつながった
- 様々なメディアを通じた発信ができた